

令和 6 年度 第 3 回部活動地域移行検討委員会
会議録

日時： 令和 7 年 2 月 2 1 日（金）午後 7 時～ 8 時 4 5 分

場所： 結とぴあ 2 0 1 ・ 2 0 2 号室

第3回大野市部活動地域移行検討委員会 次第

と き 令和7年2月21日（金）19時～
ところ 結とぴあ201・202号室

- 1 開 会
- 2 挨 拶
- 3 協議事項
 - (1) 各団体の活動状況について
 - (2) 生徒・保護者へのアンケート結果について
 - (3) 来年度の部活動地域移行について
- 4 その他
- 5 閉会挨拶

大野市軟式野球連盟
大野ジュニアバスケットボールクラブ
大野市サッカー協会
大野市スポーツ協会
大野市文化協会
ピクルス
Shiny Crew
大野市卓球協会
大野ジュニアBC
大野市ソフトテニス協会
大野市陸上競技協会
大野市中学校吹奏楽連盟

【出席者】

林 順和
野尻 秀郷
明石 和典（代理：八田 吉弘）
朝日 正幸
羽根田 繁紀
大畑 光博
齋藤 佑輔
高村 光昭
中山 幹雄
仲井 太（代理：森田 律男）
坂本 美智世
村口 正幸

教育総務課 課長
教育総務課 学校教育審議監
教育総務課 課長補佐
教育総務課 総括コーディネーター
教育総務課 主事
スポーツ推進課 課長
スポーツ推進課 主事
地域文化課 課長
地域文化課 課長補佐

【事務局】

土蔵 郁代
山川 龍一
森永 奈緒子
勝矢 和弘
辻 綾子
澤田 陽彦
末永 大和
五十川 秀育
表 早苗

【開会】

【教育理念唱和】

【委員長挨拶】

【委員長】豪雪の合間をぬった青天の今日、今年度第3回目の検討委員会が開催できることを大変嬉しく思っている。また、それぞれの団体から9名の方に参加していただいている。後程、それぞれのお話を願います。

お手元に保護者、生徒へのアンケート結果が配付されているが、ざっと目を通すとほとんどの保護者、生徒から「充実している」と反応があるということは、それぞれの団体のご努力の賜物と思っている。

今回は今年度最後の会議になるが、この2年間、そして前回11月からこれまでの進捗状況、課題等をお話していただき、スムーズに委員会が進むようによろしくお願いし、挨拶とさせていただきます。

【議事】

【委員長】協議事項（1）「各団体の活動状況について」、第2回検討委員会以降の活動において、新たに生じた課題や困った事例があったら簡単に発表をお願いします。

【サッカー】4月から活動しており、2年生が21人、1年生が17人の計38人所属している。練習は火・水・金、それと土日の公式戦、或いは月1回、水曜日はプロの指導者に来てもらって指導いただいている。謝礼は会費の中から支払っている。

当初1チームだけのリーグ戦の参加を予定していたが、人数が多くなり少しでも経験を積んでもらうということで、2チームで参加している。3年生と2年生の一部を1チーム、1年生を1チームにして参加している。1年間通して試合に出るので、1年生もかなりたくましくなってきた。

ただ問題点としては、バスを2台確保しないといけないこと。1台は所有しており、もう1台はレンタルしているが、ドライバーが2人必要になる。1台は保護者にお願いして、1台はチームの中でまわしている。

また試合会場が同一であれば良いが、ほとんど別会場となっている。そうすると、試合レフリーの確保がかなり難しい。1試合で2人必要なので、その確保が今期は非常に難しく課題だった。

保護者会というのがなく、こちらから保護者に活動についての協力をお願いすることは、一切ない。なるべくクラブの中で運営していきたいという思いでやってきたが、次年度は少しお願いも必要なのかなという思いでいる。持続できるチームとしてやっていきたいので課題である。ただ、選手は非常にたくましくなり、ありがたい。

【大野市軟式野球連盟】課題は4点。まず、資格取得に対して補助いただいているのはありがたいが、顧問は必ずしも大野在住ではなく、市外在住の顧問の資格取得に対して支援がなかった。その部分については保護者にも負担は求められないということで、今は連盟の方で負担をしている。

次に部活動の参加者とクラブの活動者に差があること。学校の先生も含めて、次年度に向けて部活動に入った子のクラブへの加入促進について動く必要がある。教育委員会としても同時に動いていただけたらありがたい。

3つ目はやはり活動場所で、冬の活動場所が固定できないところがすごく負担になっている。毎月オンラインで早めに取りようにはしているが、全部同じ場所は確保できていない状態。地域移行したクラブに対する活動場所の確保という点の配慮をお願いできたらと思っている。

最後は指導者についてである。学校顧問の異動がどうなるか、保護者、子ども達、外部指導者も不安に思っている。また、今2人いる外部指導者も仕事をしているため、大会の引率などの際に2人では難しいので、人数を増やしたいと考えている。今、候補者はいるが、謝金等の面から候補者を無造作に増やしてもいいわけではないので、非常に悩んでいる。

今、練習試合の案内・手配は学校の顧問がやっている。周りのチームはまだ部活動なので学校に連絡があり、顧問がその大会や練習試合の予約をするが、実際試合に行くのは外部指導者や保護者、となった時に意思疎通が図られていないことが結構あった。そのため、学校の顧問と外部指導者の間を取り持っている保護者の負担がちょっと増えている。これはうちの課題かもしれないが、部活動の延長でクラブを作った軟式野球連盟とすると、ここをどうしていくかが課題だと思っている。

【大野ジュニアバスケットボールクラブ】今クラブに来ているのが、3年生も入れて大体男子が20人ぐらい、女子が12～3人。3年生は抜けたが、今は丁度、冬の小学生の大会が終わった5・6年生が練習に来るようになっており、少し大所帯になってにぎやかに練習している。部活動に加入している子が何人入っているかという、大体半分ぐらいである。

前までは練習が水曜日と土曜日だけだったのを、月・水・木・土曜日にして、日曜日に練習試合があれば休日2日活動という形でやっているが、どうしても練習量の確保は難しい部分がある。また部活に入っている子達をどうにかして地域クラブに入れていきたいと思うが、なかなか入ってきてくれず難しい。もう少し背中を押すようなことをしていただけると非常に助かる。

大野市は休日部活動の地域移行が先行しており、そのメリットもあると思うが、先行している分よそが遅れていて、他は休日に部活動をしている。すると大野のチームは土日に練習試合ができないので、何を目標に日々の練習をしているのか、となりその辺が難しい。今後、今の部活の形が残るのか、もう部活はなくなるのか、そういったことをはっきりしてもらった方がありがたい。チームとしてどうしていくといいか考えて準備を進めていきたい。

学校が終わってからの活動なので、教員も含めて指導者が練習に間に合うか難しいところがある。できたら大野市を挙げて、水曜日のノー残業デーには地域の活動に貢献するように時間を使おうという雰囲気を出してもらえるとありがたい。市役所の電気が消え、学校の電気が消えて、みんなで地域のことを考えるようにしていかなないと、なかなか難しいと思っている。

【ピクルス】前回検討委員会以降の活動で、特段生じた問題はない。今、ピクルスは中体連に登録して単体で公式大会に出場しているが、平日開催の公式大会だと学校を休んでいて公欠扱いにはなっていないようだの一部の保護者の方から話があった。恐らく部活動だと公式大会に出た日は公欠になると思うが、差があるのかということで問題提起があった。

【Shiny Crew】前回の検討委員会以降、特段課題はない。円滑に運営できている。

【委員長】5団体から報告をしていただいたが、何か聞きたいことなどあれば、お願いしたい。

【事務局】先ほどピクルスから、平日の大会参加の出欠の扱いのお話が出たが、基本的に中体連の公式大会に出場した場合、どのチームから出ても出席の扱いとなる。中学校には、公欠という欠席はないので、病気もしくは個人の都合で休むというのが欠席で、公式の大会に出る場合は全て出席の扱いとなる。ただ、平日に各競技連盟主催大会をやることはあまりないが、例えばスキーだと遠征期間も含めて平日に学校を休んでスキー連盟の大会に出るということがある。スキーのような各競技連盟の大会は出席の扱いにはならない。繰り返すと、中体連の公式大会はすべて出席の扱いになっているはずである。

【委員長】では続けて卓球から順に発表をお願いします。

【大野市卓球連盟】土日含めて活動自体はすごく積極的にやってきているが、そもそも参加する生徒が少ない。小学生とともに活動しているためそこまで苦しさはないが、中学生単体で見ると非常に少ない状態で、成り立っていると言えるかは少し心配。平日の部活に参加している生徒は結構いるが、土日まではやらない部員が多い。どの程度、勧誘や斡旋をして良いのか、もしくはそもそもしても良いのかと、少し話題に出ている。顧問の方にプッシュしてほしいと言うのは良

いのだろうかと思うし、今の学校の様子だと、協会の大会の案内をわけてほしい、お知らせしてほしいと頼むのは難しい状態だと思う。しかし、少し何かコマーシャルをしないと参加してくれないのではないかと考えている。

今後補助がなくなっていくと想定すると活動費が大事になってくるが、大会前にだけ来る部員から活動費をもらうことがなかなか難しいと思っている。加入したらお金取るから来なさいよ、と強制的になっていくのか、どの程度の参加でお金を取るか今探り探りの状態である。常時参加している部員については取っていきけるが、ちょっと見学に来たというような場合が難しい。

また地域移行をしていくと各校から部員が集まって来る。地域クラブで休日の活動を頑張っている子や保護者の方には一緒にチームで大会に出たいという思いが大いにあるが、いざ学校の部活動に戻ると土日は参加しない部員が結構いて、各学校の単独チームとして試合に出ることにもなっている。それが今後、中体連の大会への参加が認められれば、平日は各校の卓球部と一緒に活動しているが、土日に頑張ってる子達は別のチームとして中体連の大会に出るという形になっていく。中体連への参加に向けて、指導者の引率の制限など具体的な手続きや学校との調整の仕方などが分からないので、わかるものがあるといいなと思う。

【大野ジュニアBC】前回の会議で上庄小学校の器具が足りないと話したところ、速やかに支柱等整備していただいた。活動場所が毎回変わるが、どの場所でも活動できるようになってありがたい。

今は保護者だけでチームを運営しているが、年度によって入って来る子どもの人数が変わり、保護者が増えたり減ったりする。減った時に毎年の運営方法を継続的に引き継ぐのが非常に難しく、課題である。指導者は指導には参加してくれるが、やはり指導してもらう上に運営までお願いする、そしてそれを恒常的にやってもらう、となると、指導者に継続的に指導してもらうことが難しくなる。それをどう両立させていくかが課題である。

また指導者は、強くなって欲しいという思いが強い傾向にある。楽しく運動して欲しい、健康的になってほしい、という思いもあるが、やはり勝ちたいというところが強い。その結果、土日に楽しくバドミントンをしたいという人には参加しづらい雰囲気もあるように思う。そこで例えば、市で指導者を集めて地域移行の趣旨や受け皿としての居場所を設けること、市の指導方針などの考え方を共有していただけると、雰囲気も変わるのではないかなと思う。

【大野市ソフトテニス協会】第2回の検討委員会以降の課題は特にない。その時には場所の確保が課題だったが、毎週土曜日午前中の活動で、B & Gの体育館を借りて練習することができている。指導者については、協会の方で携わっている5名のうち、大体平均2名が毎回の練習に参加している。

参加している生徒は開成中学校の1年生6名。全員が中学校に入って初めてソフトテニスをする初心者ばかりなのでバランスも取れており、全員がどちらかというと、楽しくできれば良いという状況の中で、少しずつ上手くなっていくよう練習をしている。なので特段課題はない。

【大野市陸上競技協会】陸上競技は土曜日だけの練習で、21名ほど加入している。しかし練習に来ているのは大体固定で、12名ほどである。雪が降ってしまったのでふれあい公園の陸上競技場が使えない状況で、旧尚徳中の体育館を使っている。本当は午前中の練習だが、使用状況により午後からの練習が多くなっている。

これまでふれあい公園の陸上競技場で練習していたので道具がだいたい置いてあったが、今は使えない状況なので、開成中学校か陽明中学校の先生にお願いしてそれぞれの学校の道具を運んでいる。先生が来られる時は良いが、指導していただけない時に用具がないので、急遽購入を考えている。また指導者もなかなか全員が揃うことがなく、指導者の方がもう少し必要じゃないかなと思っている。

そして、陸上競技場をできるだけ早く使いたい。雪がもう降らない状況であれば雪かきを自分達でやるので、ふれあい公園の陸上競技場が早く使えるようにして欲しい。

【大野ジュニア吹奏楽団】もうすぐ総会を開いて正式に団が発足する予定で、今のところ暫定的に動いているという状態。大野市民吹奏楽団の方も加わっているが、実際には各中学校2名ずつの顧問が中心となって運営をしている。しかしそれぞれ考え方が違って、なかなか一枚岩になれていないのが正直なところ。ただ、県が出している地域クラブのガイドラインは絶対守り、ガイドラインを超えて練習量を増やそうとするのは絶対にやらないと決めている。

生徒達は全員がイベントや演奏会に出たいと言っていて、そのために所属しているという感じである。コンクールはまだ学校で出ることもできるので、大野ジュニア吹奏楽団で出るのか、それとも学校の部活動として出るのか、というところで揺れている生徒がいる。でもそれも今年度までかなと思っている。

【委員長】それでは、後半に報告していただいた団体に対し、意見や聞きたいことがあればお願いしたい。

【大野ジュニアバスケットボールクラブ】ソフトテニスの6名はどのような経緯で入団したのか。

【大野市ソフトテニス協会】部活動に入った流れで土曜日だけ活動している。開成中学校の1年生しかいないので、入らなければソフトテニス部がなくなるというところで、興味をもって入ってもらえた。全員揃う日もあれば揃わない日もある。経験者と初心者がいると差がありすぎてつまらなさを感じることもあるが、全員スタートラインが同じなのでやりやすい。

【事務局】（大野市卓球協会へ回答）中体連の認可については、県中体連のホームページに申請方法などが掲載されている。条件が各競技でそれぞれ違うので、卓球の部分をご覧になっていただきたい。ただ、もう来年度の夏の大会については申請期間が終わっているので、早くても秋の新人戦から参加できるという状況である。

【大野市卓球協会】各校の顧問と相談していかなければならないと思うがどうか。大野クラブジュニアが基準に則って、勝手に地域移行チームで中体連の大会に出る、としてしまうわけにはいかないと思う。各校の顧問と相談が必要。将来的に部活動がなくなるかははっきりするラインはまだまだ先になるので、今は歩み寄りながら進めていかないといけないと思う。

【事務局】今、バドミントンや女子バレーは、中体連の大会に学校の部活動で出ている生徒もいれば地域クラブで出る生徒もいる。結局は、その子どもの選択ということになると思う。

【大野ジュニアBC】バドミントンのクラブチームを立ち上げる時は、一応中学校の顧問の先生と話し合いをして、ジュニアに入っている生徒には、クラブチームとして出たいか、中学校として出たいかを確認した。夏の大会に出ようと思うと、中学校に入っすぐメンバー登録しないとイケない。どうしようかなと迷って入ると夏の大会に出られないという状況なので、できれば中学校に入学する段階で、例えば大会に出たいという気持ちがある生徒は早めにクラブチームに入るように斡旋のようなことをして、大会に出るための選択がスムーズにできるように工夫が必要ではないかと感じている。

【委員長】クラブの一覧表を見ると、4団体が土曜日しか活動していないという状況だが、他の団体は、平日の大体7時から練習をやっている。そうすると、地域クラブに参加しない人もいるが、両方に加入している生徒は学校の部活動をして、更に地域クラブの練習に参加しているという現状なのか。

【ピクルス】中学校の方の部活に入っている子もいるが、最近は部活の練習にはほとんど参加していない。中体連の大会にもピクルスから出るという意思表示があるので、部活の方には行かず、ピクルスの練習にだけ出ている。

【大野ジュニアバスケットボールクラブ】バスケットは部活に出てから来ている子が多い。部活に入っていない子もいるが、少ない。基本的には部活をしてからの練習だが、部活の日数が減って部活がない日もあり、昔より体の疲労は減ったと思う。その分、練習を増やした。

【大野ジュニアＢＣ】中体連の大会に出るにあたっての規定に、平日の練習時間が２時間、土日の練習時間は大体半日とある。中学校の部活に所属している子には、基本的にはどちらかに出るようにして練習量が過多にならないように、部活に出たければ出ればいいが自分で考えるように伝えている。基本的には部活動に出ることはあまりなく、クラブの練習に来る子が多い。

【委員長】他にないか。

【委員長】何もないようなので、協議事項（２）「生徒・保護者へのアンケート結果について」、事務局の説明を求める。

――〈事務局説明〉――

【事務局】気になったこととしては、４ページのその他の回答に、「いじめられてる」という回答があった。この件については該当の地域クラブの指導者に連絡して、学年と学校はわからないが、こういったことを訴えている子がいるということを伝えた。また各地域クラブには、それぞれのクラブ分のアンケート結果を配ってある。

【委員長】今ほどの説明について、質問があればお願いします。

【大野市軟式野球連盟】地域クラブにかかる費用についてだが、実は２月終わりから３月頭頃に、保護者に対して今年１年のかかった経費をお示しする予定である。今、委託料で保護者の負担を補っている部分、委託料の対象にならず軟式野球連盟で負担している部分がいづらかを開示する。そうすると恐らくアンケート結果とは違ってくるように思う。また最終的に一言書いてある「今後も自走できるクラブ運営を促す」となると、言いにくいことだが、これをクラブの方に投げられて受け皿として持続可能かと言われると、正直なところ難しいと思う。このアンケート結果の保護者の意見の中にも、「十分な活動費の確保」というコメントがある。言葉は悪いが、何となく教員の働き方改革が民間の指導者への押し付けと見ている保護者も実際に結構いるので、そこは市教育委員会としてしっかり丁寧にフォローしていただきたい。この部分について、「自走できる」とされると、恐らくこのアンケートを見た保護者からすごく反発を食らうだろうと、この結果を見て思ったので、そのあたりは丁寧にやっていただきたいと思う。

【委員長】貴重なご意見をいただき感謝する。他に質問があればお願いします。

【委員長】それでは次に、協議事項（３）「来年度の部活動地域移行について」、事務局の説明を求めます。

――〈事務局説明〉――（資料なし）

【事務局】来年度は実証事業が続くので検討委員会を継続していきたいと考えているが、検討委員会の持ち方について提案させていただく。昨年度と今年度は年３回の検討委員会をしたが、来年度は全体で行う検討委員会は年度の初めと終わりの２回にしたい。そしてその間には課題に応じて必要な部分を検討する部会のような形で開催したいと思っている。

具体的に例を挙げてみる。輸送の負担については、第２回検討委員会の後、各クラブにスクールバス利用についてのニーズ調査をさせていただいた。その結果などを参考にして、来年度は大野市のスクールバス利用の実証事業として、クラブでの県内遠征や練習試合、協会主催の大会などの時にスクールバスが利用できるよう手だてを考えている。それを令和８年度から本格的にやっていくにはどうすると良いかを、スクールバスを所管している教育総務課で案を作って皆さ

ん方からご意見をお伺いする。このような形で1つ1つの課題について対応していきたいと考えている。

会場の確保も課題である。私としては、今は休日の活動を地域移行しているので、少なくとも休日の活動は固定された会場が使えると良いと考えている。そのためにはどうしたら良いのか、会場使用などを所管しているスポーツ推進課とも相談しながら、皆さんに提示をしていきたい。

このように、課題によって必要な方にご意見をお伺いしながら、来年度は地域移行のさらなる充実を進めていきたいと思っており、全体で集まるのは2回、そして課題ごとに皆さんにご意見をお伺いさせていただく。例えば、吹奏楽独自の課題のときに、スポーツクラブ全員が集まっていただく必要はないので、そのように必要な方とお話をさせていただく機会を持てるようにしていきたいと考えている。

スクールバスの利用については、皆さん方のクラブが中体連の大会、或いは吹奏楽連盟の大会に参加するときには、これまで通り部活動から参加する生徒と同じように輸送する。その他の、クラブの練習試合や各競技協会主催大会などの時に別途スクールバスが使えるように検討しており、来年度はその実証事業をやろうと考えて3月定例議会にその予算を計上させていただいている。

【委員長】皆様の方から何かご質問等があればお願いしたい。

【大野ジュニアバスケットボールクラブ】Ax isはバスケットボールは男女合わせて30人ぐらい、男子20人ぐらいと女子で15人ぐらいで活動している。最初は男子も女子一緒に同じメニューの練習をしていたが、活動を始めて5年目～6年目になって、最近は練習も、男子と女子で分かれている。指導者はある程度兼ねている部分もあるが、バレーボール競技が男子と女子でチームが分かれているので、Ax isも男子と女子でチームを分けても良いのかどうか、可能なのかどうかを考えてもらえるとありがたい。

【事務局】まず、クラブ自体が男女で分かれるという形を取ることは、それはもちろんそのクラブで考えていただければ良いことだが、当然、今は実証事業がついてくる。その予算やスクールバスの使い方については、預からせていただく。

【委員長】他にご意見はないか。

【委員長】ないようなので、最後に最後に「その他」として事務局から連絡をお願いする。

――〈事務局説明〉――

【事務局】まず、先日は委託料の完了検査ということで書類の提出にご協力いただき感謝する。続いて補助についても、実績報告書の作成にご協力いただきたい。

次に、チームの紹介チラシの原稿作成をお願いする。チラシは来年度、新中学1年生に配布をする予定である。

そして、地域移行に関する会議の際の施設使用料の免除について、ご案内する。地域移行の内容の会議等で結とびあなどを利用される時には、教育総務課から副申書を出すことによって、施設の使用料を免除させていただいている。その際の書類の出し方についてだが、まず団体の方から仮予約を行い、施設利用許可申請書と減免申請書をあわせて、教育総務課の担当にお出しいただきたい。担当の方で免除にできる内容か確認し、免除できるものは担当が副申書と団体から提出された申請書類一式を施設管理者に出させていただく。結とびあだけではなくエキサイトの会議室も同じ流れとするので、仮予約をしたら、申請書は施設管理者ではなく教育総務課の方へ提出してほしい。

最後に、参考にしたいので保護者会が存在するかどうかということをお聞かせいただきたい。保護者会が存在するというクラブは、挙手をお願いする。

(ピクルス、Shiny Crew、大野ジュニアBCが挙手)

感謝する。他のクラブは、保護者会としてはまだ存在はないということでよろしいか。

【委員長】今は保護者会を開催していないが、立ち上げる予定の団体があると思う。例えば大野市陸上競技協会は、規約を作り保護者会について記載してある。

【事務局】保護者会立ち上げの予定がある団体は挙手をお願いします。
(大野市陸上競技協会、大野ジュニア吹奏楽団が挙手)
感謝する。

【委員長】本日の審議事項をすべて終了したが、最後に何か意見等があればお願いします。

【大野市サッカー協会】このアンケートは、保護者にアナウンスされるのか。アンケートを取って、結果をアナウンスしないというのは良いのか。

【事務局】今のところはする予定はないが、検討する。

【大野ジュニアバスケットボールクラブ】今は保護者などに見せないほうが良いのか。

【大野市サッカー協会】批判したいのではなく、見せなくて良いのかなと思った。公開しないのであればそれで結構である。

【事務局】取り扱いについてはまた連絡する。

【大野ジュニアバスケットボールクラブ】指導者間では共有しても良いか。

【事務局】構わない。

【大野ジュニアBC】クラブのチラシを配布するということだが、恐らく夏の中体連の大会は4月中に登録しないといけないので、できるだけ早く配布してほしい。また、クラブチームとして夏の大会に出たい場合は、早めにクラブチームに登録すれば夏の大会に出られるという案内をしてほしい。部活に入ると中体連の登録は学校の顧問がすると思うが、両方所属した時にどちらで大会に出るか選択しないといけないということ自体、地域クラブに所属していない保護者や生徒は分かっていないので、事前に周知してほしい。

【事務局】学校の部活動の入部が大体連休明けなので、難しいと考える。ただ、学校の部活動に入ると確定せずに、先に地域クラブに入るというような形もありだと思う。初心者の生徒は、一旦部活へ入ってもう少し上手になりたい、土日も練習したいと地域クラブに入っていくという流れが多いのではないかと思う。4月の段階で、そこを生徒が判断するというのはちょっと難しいのではないかと思う。

【大野市軟式野球連盟】地域クラブのチラシを作って配る時に、地域クラブに入ってから夏の中体連の大会に出たいのであれば、早めに動かないと間に合わないということと、このチラシの中に書いてはどうか。あくまで地域クラブの紹介チラシで、その紹介チラシを見て部活より先に地域クラブに入りたい生徒は、恐らくすぐ大会に出たいのではないかと思う。そのあとゆっくり部活に入る生徒は、ゴールデンウィーク明けに加入となれば良いと思う。正直に言うと、休日の地域移行を進めた割には学校の部活への入部のリズムが地域クラブのスケジュールと合っておらず、課題だと思っている。部活への加入と、地域クラブへの加入、中体連への登録を一括してしっかりアナウンスをしていただきたいという意味だと思うので、是非よろしく願いしたい。

【大野ジュニアBC】今年の4月30日までに大会に出たい部員を確認してメンバー登録しないと、中体連の夏の大会に出られない。初心者が夏の大会に出たいと言う場合はまだだが、そういったところもできればありがたい。

【事務局】チラシの配布は入学早々にする予定である。その配布の際に中体連の登録のことや地域クラブへの先行した加入などについても、触れられると良いと受けとめさせていただく。

【大野ジュニアBC】中体連への登録の締切は競技によって違うのか。

【ピクルス】バレーボールも4月30日である。

【大野ジュニアBC】一律なのであれば同じように全体にアナウンスしてほしい。それか中体連に働きかけて中学校の部活動と同じタイミングで申請できるようにお願いできないか。部活動とズレがなくなるともう少しやりやすいのではないか。

【大野ジュニアバスケットボールクラブ】これは県の中体連の締切なのか。

【事務局】そうである。

【大野ジュニアバスケットボールクラブ】県中体連の締切をもっと遅くできないのか。

【大野市軟式野球連盟】中体連を動かすのは難しいと思う。

【事務局】中体連への働きかけについては私の方でやるが、すぐにこれが改善されるというものではないので、まずはご要望のあったように、チラシ配布の時に何か添えるよう考えたい。

【大野ジュニア吹奏楽団】私は開成の教員なので開成のことをお話しさせていただくと、来年度、4月の11日か12日に部活と地域クラブを一括して紹介する。部活の結成は、4月22日火曜日ぐらいの予定だったと思う。例年より早めている。

【ピクルス】チラシについてはA4に2枚載せるとのことだが、加入する時の窓口としてチラシに連絡先を書いた方が良いのか。必要事項を色々書くと字が小さくなると思うので、学校に窓口を設置していただけたらとか、何か方法はないか。

【事務局】1月の終わりに、今の小学校6年生には各地域クラブの練習日とか練習時間、連絡先をまとめたものを配布してある。そこで、それと同じようなものを冊子に組み込むことはできる。また、それとは別に各クラブのチラシ内に連絡先を載せるのも構わない。

【大野ジュニアバスケットボールクラブ】休日だけが原則対象という考えは変わらないのか。補助をもらえてありがたいが、使い道が限定されることが多く、使いたいものに使えない。

【事務局】今のところ大野市はまだ平日部活動の地域移行にまでは及んでいない。国の委託料と県の補助金でやっており、委託元である国の方は、あくまでも休日の地域移行をするための実証事業の委託料ということなので、大野市だけでは致し方ないところ。

【閉会】

【委員長】本来、副委員長の大石委員が挨拶のところ、欠席ということで挨拶させていただく。

平日の部活動地域移行については、前回の検討委員会の開会の挨拶で新聞に掲載された内容を報告させていただいた。文部科学省は2026年から6年間をかけて進めていきたいということ

を打ち出している。私の憶測では、大野市は先へ先へとやっているので、この件についても検討の課題に出てくると思っている。その節はまた皆様のご協力をお願いする。今後とも、それぞれの団体のご賛同を得ながら、来年度に向けて進めて参りたいので、ご協力のほどお願いする。